

令和2年度大船渡市総合交流ターミナル施設事業報告書

1 管理運営と事業概要

東日本大震災から10年目を迎え、椿の展示も充実し「椿の里 大船渡」のメイン施設として、当施設の一大イベントである「三陸大船渡第24回つばきまつり」を中心とする交流人口の増大と情報発信、満足度向上をねらいに新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら、管理運営に努めてまいりました。

今年度は天候に恵まれたものの、新型コロナウイルス感染症への予防対策が実施され、4月19日から5月末日まで入館者の受け入れ中止、大船渡碁石観光まつりも同期間であることから中止となりました。その後も観光客の新型コロナウイルス感染拡大防止策による自粛要請等があり、碁石海岸への入り込み客数が減少しました。

椿館への入館者数は、9,272名で前年比51.2%と前年を下回りました。

つばきまつりについては、営業日数が44日間と前年より20日間減少したものの、実行委員会や支援団体、マスコミ各社の報道支援イベント企画等の効果もあり、入館者数は5,639名と前年比67.7%の実績となりました。

施設の管理面については建設以来24年を迎え、施設各所で老朽化が顕著にみられます。9月には浄化槽マンホール蓋改修工事及び12月中旬より本館ガラス屋根修理工事が行われ翌月末には工事終了致しました。施設環境が大きく改善され管理作業が適正に前進すると思われたものの、ガラス屋根修理工事による雨漏りの改善には至らず課題が残りました。

2 管理業務の実施状況に関すること

- ① 入館時にマスクの着用・アルコール消毒・検温などを行い、新型コロナウイルス感染症予防策の徹底に努めた。
- ② 非開花時期に集中的に椿の剪定や鉢替、施肥及び耕起を行い、次年度以降につながる椿の適正管理に努めた。
職員体制は、臨時職員4名、パートタイマー(女子)2名、(業務責任者及び防火管理者を含む)とし、効率的な管理運営に努めた。
- ③ 障害者、高齢者が安心して観賞できるよう、車椅子やシルバーカーの利用促進に努めた。
- ④ 椿館に対する意考を調査し利用者満足度の向上に努めた。
- ⑤ 敷地内の芝生、樹木等の適切な維持管理を積極的に行った。
- ⑥ お客様ニーズに応えるため、大船渡東高、地元企業、地域住民が生産、製造する椿苗、花苗、飲料品、グッズ、小物等の委託販売を行った。

委託販売者と取扱品目

- ・ 岩手県立大船渡東高等学校（椿苗木）
- ・ 大和田勝子（花壇苗）
- ・ 入新園芸（花壇苗）
- ・ ふるさと工房やぶ椿（キーホルダー、押し絵）
- ・ 工房まゆみ（造花）
- ・ 壺屋田耕（菓子）
- ・ サークル・パープル ラベンダー小物）
- ・ 村上恵子（コールドール、人形）
- ・ 及川宗夫（ツバキ工芸品）
- ・ Likka Lusikka（ブローチ、ピアス、イヤリング）
- ・ トロイメライ（ブローチ、ヘアピン、つまみ細工）
- ・ Natulab Cocoon（ネックレス、ピンブローチ、マグネット）
- ・ Admiration（ストラップ、アクセサリ）
- ・ ドラペコ（プレスレット、サンキャッチャー）
- ・ 株式会社 TACT 流工房（南部鉄器グッズ）
- ・ 戸羽登代子（マーブルアート）
- ・ 願いのハ～モニ－（手芸品）

⑦ 施設の管理に伴う修理・修繕

- ・ 温水ボイラー部品交換修理（11月）
- ・ ふれあい広場日陰樹剪定（12月）
- ・ 自動火災報知機設備発信機交換修理（12月）
- ・ 椿館本館ガラス屋根修理（12～1月）
- ・ 受水槽給水管修理（1月）

⑧ 防犯、火災監視（セコム）、消防用設備点検（共立電気）、温室保温、ボイラー点検（双葉設備アンドサービス）、浄化槽保守点検（ライフ工業）については業務委託を行い施設の適正な維持管理に努めた。

⑨ 館内外に四季の花の寄せ植えとハンギング、ふれあい広場にはモデル花壇とバラ（恋し浜）を植栽し、景観形成と花きの情報発信に努めるとともに、施設内の立木及び生垣の手入れを行い、周辺環境の整備に努めた。

3 利用状況に関することについて

- ① 社会福祉施設、教育機関の施設見学、学習活動の場として、展示室及び、研修室、ふれ

- ② あい広場の利用促進を図った。
- ③ 利用促進をねらいにハーバリウム教室等、20回の独自イベントを開催した。
- ④ 非開花期でも有料入館が義務づけられ、利用者から敬遠されたり疑問や反発を受けながら入館対応している。この種の施設は、オフシーズンは無料入館が原則で、見るべき花も無いのに有料では施設のイメージを著しく損っている。思いきった改革を期待したい。
- ⑤ 総入館者数 9,272人(前年比 51.2%)
有料入館者数 6,179人(前年比 64.0%)

4 広告宣伝に関することについて

- ① 市広報、農協だより、東海新報に各種イベントの開催を掲載、市民への喧伝に努めた。
- ② 入館者の増加、施設の利用促進並びに「つばきの里大船渡」のPRを図るため、めんこいTV、IBC 岩手放送、テレビ岩手の人気番組での放映、NHK、IBC、FM ねまらいん等のテレビ、ラジオ、CM、インターネット広告や旅行誌への掲載など、広告宣伝に努めた。

椿館 宣伝 PR 一覧

1 情報誌

・ ミュージアム情報誌	仙台・宮城ミュージアムアライアンス
・ 岩手復興だより	岩手県復興局復興推進課
・ 岩手日報ぼらん	(株)総合広告社
・ 復興支援沿岸飲食店ガイドマップ	(株)総合広告社
・ Highway Walker	角川マガジンス
・ 月刊 ViVitto	月刊 ViVitto
・ せんだいタウン情報誌 S-style	(株)プレスアート
・ いわてウォッチング	(財)岩手経済研究所
・ まっふるマガジン「岩手 盛岡・平泉」	昭文社
・ フリーペーパー道の駅	(株)プランニング
・ はいたび Vol.16	NEXCO 東日本東北支社
・ 関東・東北じゃらん 2020年4月号	(株)リクルート
・ The GARDENS of IHATOV	NPO 法人 Green Fields
・ 会誌「椿」	日本ツバキ協会
・ 大船渡市観光リーフレット	大船渡市役所観光推進室
・ フリーペーパーあおば	青いポスト 21 株式会社
・ 週刊女性自身	光文社

2 テレビ、ラジオ

- ・ IBC テレビニュース 桜中継 ふれあい広場 (4/4)
- ・ NHK 東北「おぼんです岩手」(2/3)
- ・ めんこい TV テレビニュース(3/1)
- ・ テレビ岩手 夢みるピノキオ(3/7)
- ・ IBC テレビ「わが町バンザイ」(3/25)
- ・ IBC ラジオインタビュー (2/1)
- ・ IBC ラジオ 684 ラジオカー中継 (2/11)
- ・ IBC ラジオ「ネクスコハイウェイナビ」(2/1、3/1)
- ・ FM ねまらいん中継 (2/6)

3 新聞社

- ・ 東海新報
- ・ 岩手日報
- ・ 河北新報
- ・ 読売新聞
- ・ 朝日新聞
- ・ 毎日新聞
- ・ 岩手日日新聞

4 その他

- ・ パイオニア製カーナビ
- ・ 市広報
- ・ 広域連合だより
- ・ 広報 JA おおふなど

5 インターネット

- ・ JR 東日本 HP
- ・ Yahoo!Japan HP
- ・ 地球の歩き方・旅スケ HP
- ・ インターネットミュージアム
- ・ るるぶ. com
- ・ JTB サイト
- ・ じゃらん net
- ・ 地球のココロ
- ・ 日本の森滝渚全国協議会 HP
- ・ いわてウォッチング
- ・ いわて三陸観光復興サポートセンター
- ・ 大船渡市 HP

- ・ 全国観光情報データベース
- ・ 大船渡市ツイッター
- ・ 大船渡市観光物産協会 HP
- ・ オオフナコポータル
- ・ 岩手県情報発信ブログ「イーハトーブ」
- ・ 世界の椿館・碁石 HP
- ・ 世界の椿館・碁石 FaceBook
- ・ 世界の椿館・碁石 instagram
- ・ 世界の椿館・碁石 Twitter

5 自主事業に関すること

- ① 内外環境へ配慮しつつ施設の利用促進と交流人口の増大を図るため、下記の通り自主事業を展開した。

令和2年度 独自イベント一覧

年月日	曜	内 容	集客数	摘 要
2.7.23	木	ハーバリウム教室	5	ハーバリウム教室(4日間合計 35名)
7.24	金	ハーバリウム教室	13	ハーバリウム教室
7.25	土	ハーバリウム教室	1	ハーバリウム教室
7.26	日	ハーバリウム教室	16	ハーバリウム教室
2.8.5	土	寄せ植え教室	7	多肉の寄せ植え教室(3日間合計 25名)
8.9	日	寄せ植え教室	10	多肉の寄せ植え教室
8.10	月	寄せ植え教室	8	多肉の寄せ植え教室
9.20	日	ハーバリウム教室	12	ハーバリウム教室(3日間合計 37名)
9.21	月	ハーバリウム教室	17	ハーバリウム教室
9.22	火	ハーバリウム教室	8	ハーバリウム教室
10.24	土	椿盆栽づくり教室	13	椿盆栽作り教室
12.11	金	寄せ植え教室	8	正月用寄せ植え教室(3日間合計 24名)
12.12	土	寄せ植え教室	8	正月用寄せ植え教室
12.13	日	寄せ植え教室	8	正月用寄せ植え教室
3.1.23	土	インテリア小物づくり教室	17	インテリア小物作り教室

第24 つばきまつりについて

会期 令和3年2月6(土)～3年3月21日(日)

期間中の入館者数 5,639人(前年比 67.7%)

期間中の有料入館者数 4,612人(前年比 64.4%)

6 その他に関することについて

- ① 接客研修及びツバキの栽培管理研修を行い、職員の資質向上に努めた。
- ② 碁石海岸及び大船渡の名所、名産を積極的にPRし観光の街大船渡市の情報発信に努めた。

令和2年度大船渡市総合交流ターミナル施設収支決算書

1 収 入

(単位:円)

項 目	金 額	摘 要
市からの委託料	21,900,000	4月 5,490,000円、7月 5,470,000円、10月 5,470,000円 1月 5,470,000円
合 計	21,900,000	

2 支 出

(単位:円)

項 目	金 額	備 考	
人件費	14,267,067	給料手当10,335,186円 法定福利費1,527,757円 人夫賃2,404,124円	
消耗品費	468,686	ダスキン、残渣処理料、トイレ用品、作業用品、マスク、 消毒剤、トイレトーパー、ゴミ袋、モップ外	
燃料費	653,203	ボイラー用A重油、灯油、混合油	
印刷製本費	0		
光熱水費	1,274,042	電気料1,169,518円 水道料104,524円	
修繕費	552,800	受水槽給水管修理、POSレジシステム保守、自動火災報知機発信 機交換	
通信運搬費	236,536	電話料、NHK受信料、サーバー利用料、郵送料	
広告料	0	ラジオ、TVCM	
車両検査料外	92,032	ガソリン、オイル交換、点検代	
花き維持管理費	2,196,955	館内装飾、肥料、農薬、立木剪定、用土代、プラ鉢、素焼鉢、 花壇管理費、フラワーベンチ外	
保険料	12,150	賠償責任共済2,850円、傷害共済掛金9,300円	
委託料	施設警備	240,000	セコム60,000円×4回
	浄化槽保守点検	101,000	点検委託料46,500円×2回 法定検査8,000円
	ボイラー点検	81,400	点検整備
	消防設備外	44,000	6月 18,000円 11月26,000円
イベント開催費	428,906	イベント広告料 講師謝礼 材料費(鉢、容器、用土、資材)、 教材見本、	
公課費	0	自賠責、重量税	
事務費	442,871	POSレジパソコン外リース料329,360円 事務用品外 113,511円	
会議費	79,141	新聞購読料、借用物謝礼、図書購入費、雑費	
消費税	689,157	人件費、保険料を除く課税対象額 6,891,572×10%	
合 計	21,859,946		

収入決算額 21,900,000円 － 支出決算額 21,859,946円 ＝ 40,054円